

防災のためのメディア比較

Media Coverage		TV	Radio	電話	internet	新聞	広報
Mass Media	全国	BSディ ジタル	CSディ ジタル				
	地方					新聞	
	都道府県・政令市		地上 波アナ ログ	地上 波ディ ジタル			
Community Media	市区町村			AM			
	中学校区						
	小学校区						
	Zip Code						
Personal Media	世帯						

大きなエリアをカバーするメディアは強い情報発信力を持つ、その背景に巨大な取材力、しかし、大きなカバーするメディアが発信できる内容は多くの人にとって関連をもつもの、誰もが知るべきことであり、一般的なことしたがって、大きなエリアをカバーするメディアを使ってごく限られた範囲の人に関連する個別具体的な情報を提供することは技術的にも不可能であるたとえば、NHKのアナウンサーは1分間に400字詰原稿用紙3枚のスピードで話すといわれる。1時間に発信できる情報量は原稿用紙で72000字に過ぎない。

何も構造化されず、延々と個別具体的な情報が提供されたとしても、被災者のattentionに限界があり、それを受け止められる人は少ない
実際には、聞き手のattentionの限界を意識して、情報発信の際にはリダンダンシーを持たせるのが普通である。たとすれば、伝達できる情報量はその1/3程度に過ぎない。
被災者は忙しく、自分に関連する情報を探すにしても5分間ほども探索に集中することは困難かもしれない
人の名前は平均4字だとすると、18000人分の名前を呼べるに過ぎない。

災害対応には個別具体的な情報が不可欠である
それを必要とする人に配信する仕組みがない
小さなエリアをカバーするメディアは、関係者の数も限られ、能力の面でも、情報発信力が弱くなる。
情報の受信者にとって魅力ある情報の提供ができなければ、日頃からそのメディアに受信者を引き止めておくことができない

TV、ラジオの速報性が大切にされるが、必要な情報が入手できなければ、暇人のためのメディアにしか過ぎない